



卒業生用特別号

学校だより

けやき

平成31年3月8日
宇都宮市立上河内中学校
発行責任者 校長 西原 良一



卒業おめでとうございます

毎年のこととは言え、花粉が猛威をふるい花粉症の私には辛い季節になってきましたが、皆さんは大丈夫ですか？そして、3月はもう一つ、学校にとっては辛い別れの季節でもあります。

来週の月曜日に、皆さんは、宇都宮市立上河内中学校を卒業し、皆さんとお別れすることになります。でも、この別れは皆さんの新たな世界への旅立ちになるわけで、喜ぶべき別れですから、改めて言わせてもらいます。「卒業、おめでとうございます。」

皆さんの卒業を間近にして思うのは、「皆さんは、この1年間で大きく成長したな〜。」ということです。

昨年度（一昨年）の4月に本校の校長となり、2年生の皆さんと出会ったわけですが、皆さんに対する第一印象は、「正直、あまりよいものではなかった。」記憶があります。それは、これまで勤務していた学校の2年生に比べて、皆さんの行動は「幼稚」としか思えないことが多かったからでした。

先生方から受ける報告には「普通に考えれば、中学2年生にもなってそんなことはしないだろう。」と思えるようなことが、特に男子の行動には、たくさんありました。ほんの些細なことでも、度重なると「この先、どうなるんだろうか？」と思ったものです。

でも、皆さんはそんな不安を見事に払拭するような成長を遂げてくれました。運動会での頑張りと、合唱コンクールでの素晴らしい合唱、まさか、男子だけのアカペラの歌を聴けるなんて夢にも思っていませんでした。また、3年生を送る会での在校生に向けての合唱も、さすが3年生と思ったのは私だけではなかった筈です。本当に感動しました。卒業式でも、素晴らしい歌声がきけるものと期待しています。そして「もっと皆さんの成長を見てみたかった。」それが今の偽らざる気持ちです。

11日の卒業式には、式辞の中で、三つのことを巣立っていく皆さんに伝えたいと考えています。少し長い話になってしまうと思いますが、我慢して聞いてください。



すべてのものに欲望がある。
欲望があるから、
バラは美しく咲き、
岩は岩でありたいと
がんばっている。

～映画「ライムライト」より～

欲望（こうありたいという自分）
を持続けてください。

